



# ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和6年12月24日  
文責：校長 江上 知男



味噌づくり体験(3年)

## 「学び多い」2学期終了！

12月24日(火)に、2学期終業式を実施しました。「感染症防止」と「寒さ対策」のため、リモート実施でした。

マイコプラズマ肺炎やインフルエンザ等の「周りでの流行」にビクビクしながらの学期となりましたが、結果的に感染症に影響を受けずに済みました(先週予定の「6年スポーツ交流会」は、東小での流行のため延期)。予定していた、修学旅行・見学旅行・学習発表会・等々を実施することができ、子どもたちは様々な経験を積むことができました。

特に、今年は5年ぶりに学習発表会が1日開催でき、学習の成果を多くの保護者や地域の方々にお目にかけることができました。様々な理解と協力をいただいた、PTA役員をはじめ保護者の皆さま、地域の皆さまに心から感謝します。2学期のテーマは、次の内容でした。

### 「気付き、考え、行動する」の中の、特に「考える」ということ

子どもたちは毎日の生活の中で、「自分のことを自分でよく考えて決めること」や「自分のことだけでなく相手のことを考えて決めること」を実践しています。本日担任から配付しました通知表をじっくりお読みいただき、親子でも2学期を振り返っていただければと思います。

## 「人権作文」を発表！(人権を考える町民の集い)

12月7日(土)に、嘉島町主催の「人権を考える町民の集い」が開催され、本校からは5・6年生の4名が作文発表をしてくれました。内容は、2学期の水俣病学習や平和学習に関する事で、4人それぞれが自分の感性で問題を捉えた素晴らしい発表でした。

その中で、6年生が発表した「学んだこと(受け取ったバトン)を伝えていく(次に渡す)ことが最も大切」という内容が心に残りました。

よく「人権は空気のようなもの」と言われます。「無くてはならないもののなのに、普段あまり意識しない、当たり前すぎて気付きにくいもの」ということでしょうか。でも、6年生が教えてくれたように、学んだことを伝えていかないと「いつの間にか無くなっていく」ような気がします。4人の発表から、「人権は、歴史の中で人間が築き上げ、維持し続けてきたもの」であることを改めて考えさせられました。



代表の5・6年生



運営



除草

## 「素晴らしい活動」に感謝！

12月15日(日)に、PTA主催の「門松づくり」が行われ、130名を超える親子が参加しました。やったげ隊の皆さんが、準備から運営まで力を注いでくださいました。ここ数年、年末の恒例行事となっており、ミニ門松を親子や友達と楽しそうに作っている姿がとても素敵でした。

なお、やったげ隊の皆さんは、その後校内の除草作業も行ってくださり、学校としては「たくさんやっていただいた」という1日でした。素晴らしい活動に感謝します。